

文学賞受賞作品 2016-2018

図書館では、小説、ノンフィクション、エッセイ、評論、翻訳、短歌、詩、俳句、戯曲などに関する日本の52の文学賞について、受賞作品を継続して購入しています。

対象は2016年度から2018年度までの作品です。書評が新聞に掲載された作品には、図書に書評をはさんでいますので、作品選びの参考にご活用ください。なお、詩歌(分類番号911)の資料は、特集コーナーではなく、通常の配架場所(3階)にあります。

【 図書は年度別、請求番号順に配架 】

2018年度 受賞作品

書名 / 著者 (上段)	内容解説 (下段)	請求番号
昭和の翻訳出版事件簿 / 宮田昇著 創元社, 2017.8		021.2-Mi84s
第71回(2018年)推理作家協会賞(評論・研究部門) 昭和、平成を本物の出版人として生き抜いてきた著者が、翻訳出版界を揺るがしてきた数々の事件の正体を解き明かす。		
超越と実存:「無常」をめぐる仏教史 / 南直哉著 新潮社, 2018.1		181.02-Mi37c
第17回小林秀雄賞 「恐山の禅僧」が、ブッダから道元までの思想的変遷を「超越と実存の関係」から読み解く、仏教史の哲学。		
悪たくみ:「加計学園」の悲願を叶えた総理の欺瞞 / 森功著 文藝春秋, 2017.12		312.1-Mo451w
第2回(平成30年)大宅壮一メモリアル日本ノンフィクション大賞 徹底した取材を元に、疑惑の全貌を明らかにするノンフィクション。政界・官界・業界団体・地方自治体などの利害が複雑に絡み合った糸を解きほぐし、現在の日本の最高権力の驚くべき核心に踏み込む力作。		
北朝鮮核の資金源:「国連捜査」秘録 / 古川勝久著 新潮社, 2017.12		319.21-F93k
第17回新潮ドキュメント賞 厳しい国際包囲網の中、なぜ北朝鮮は核兵器や米国にまで届くミサイルを開発できるのか。国連安保理の最前線で捜査にあたった著者が直面したのは、国連安保理常任理事国の足もとにまで張り巡らされた犯罪ネットワーク、それを駆使して戦闘機やミサイルすら密輸する非合法ビジネス、そして組織の中核で暗躍する日本人の存在だった。		
告白:あるPKO隊員の死・23年目の真実 / 旗手啓介著 講談社, 2018.1		329.5-H42k
第40回講談社ノンフィクション賞 日本が初めて本格的に参加したPKO(国連平和維持活動)の地・カンボジアでひとりの隊員が亡くなった。だが、その死の真相は23年間封印され、遺族にも知らされていなかった。文化庁芸術祭賞優秀賞、ギャラクシー賞大賞を受賞したNHKスペシャル待望の書籍化。		
凱旋門と活人画の風俗史:儚きスペクタクルの力 / 京谷啓徳著 講談社, 2017.9		384.8-Ky6g
【講談社選書メチエ660】		
第40回サントリー学芸賞(芸術・文学部門) 国民国家の記憶装置としての凱旋門、上流社会の娯楽としての活人画、そして明治日本にも伝来し変容してゆく見世物としての歴史をたどる。		
AI vs.教科書が読めない子どもたち / 新井紀子著 東洋経済新報社, 2018.2		401-A62a
第66回日本エッセイストクラブ賞 AIは何を得意とし、何を苦手とするのか? AI楽観論者は、人間とAIが補完し合い共存するシナリオを描く。しかし、全国2万5000人を対象にした読解力調査では恐るべき実態が判明する。AIの限界が示される一方で、これからの危機はむしろ人間側の教育にあることが示され、その行く着く先は最悪の恐慌だという。		
「蓋然性」の探求:古代の推論術から確率論の誕生まで / ジェームズ・フランクリン [著]; 南條郁子訳 みすず書房, 2018.5		417.1-F44g
第55回日本翻訳文化賞 「蓋然性」(probability)とは「確からしさ」のことであり、これを数学的に純化することにより「確率」の概念は生まれた。本書は1654年に確率の数学が発見される以前の二千年以上にわたる蓋然性の歴史を、法・科学・商業・哲学・論理学を含む圧倒的に広範な領域で調べ上げ、ハッキングの『確率の出現』の成功以来信憑されてきた単純すぎる確率前史を塗り替える。		
安楽死を遂げるまで / 宮下洋一著 小学館, 2017.12		490.15-Mi83a
第40回講談社ノンフィクション賞 安楽死、それはスイス、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、アメリカの一部の州、カナダで認められる医療行為である。超高齢社会を迎えた日本でも、昨今、容認論が高まりつつある。しかし、実態が伝えられることは少ない。患者たちはどのような痛みや苦しみを抱え、自ら死を選ぶのか。遺された家族はどう思うか。		

浪花節流動する語り芸：演者と聴衆の近代 / 真鍋昌賢著 せりか書房, 2017.3	779.15-Ma43n
第40回(2018年度)サントリー学芸賞(芸術・文学部門) 20世紀前半、文字による歴史の外で興隆した語りの芸術「浪花節」一口演からレコード、ラジオを媒体に名人、寿々木米若や二代目天中軒雲月等の演者とファンの織りなす社会状況を活写した大衆文化史。	
夫・車谷長吉 / 高橋順子著 文藝春秋, 2017.5	910.268-Ku791t
第34回講談社エッセイ賞 十一通の絵手紙をもらったのが最初だった。直木賞受賞、強迫神経症、お遍路、不意の死別。異色の私小説作家を支えぬいた詩人の回想。	
枕詞はサッチャン：照れやな詩人、父・阪田寛夫の人生 / 内藤啓子著 新潮社, 2017.11	910.268-Sa37n
第66回(2018年度)日本エッセイストクラブ賞 「今日から俺をオジサンと呼べ」。離婚して新しい妻と子供ができた時に備えた父から、ある日突然指令が下った。家族の恥部も全て創作のネタにするひねくれ者に、なぜあんなに優しい詩が書けたのだろうか。童謡「サッチャン」の作者のハチャメチャな人生。爆笑必至の“変父”論。	
えびすとれー / 水原紫苑著 本阿弥書店, 2017.12	911.168-Mi94e
第28回紫式部文学賞 短歌という器に沈潜する著者が、時空を自在に行き来し、虚と実の間をつなぐ。典麗な調べでイマジネーションを刺激する庄巻の七四六首。第九歌集。	
黙示：句集 / 有馬朗人著 KADOKAWA (発売), 2017.8	911.368-A72m
第52回(H30年)蛇笏賞 俳句で巡る現世と常世の旅。教育者、俳人、物理学者などさまざまな分野で活躍し続ける著者の待望の第10句集。自在な詠みぶりで、国内外を自由に多角的に描いた四〇〇句を収録。古代からの歴史の豊かさが俳句のこぼに結晶する珠玉の一冊。	
海の音：句集 / 友岡子郷著 朔出版, 2017.9	911.368-To62u
第52回蛇笏賞 阪神・淡路大震災で家屋が半壊し、当時、「倒・裂・破・崩・礫の街寒雀」と詠んだ友岡子郷。震災の記憶は鮮明ながらも遠い日となりつつある。兵庫県明石市に移り住んで7年余り。海鳴り、潮風、舟の音…。新たな地で海の音を聴きながら暮らす著者が、やさしい言葉で深くうたう5年ぶりの最新句集。	
倭人伝断片 / 福田拓也著 思潮社, 2017.11	911.56-F74w
第56回(2018年度)歷程賞 岩肌の中にわたしはやがて一つの複雑な文様となって消失し、私がかもはやいないということ自体が一つの風景として開かれる、待望の最新詩集。	
余白の夜 / 岩木誠一郎著 思潮社, 2018.1	911.56-I93y
第56回歷程賞 「触れていると思っているものが、ほんとうにそこにあるのかどうか。いつまでたっても不安は不安のままです。同じように感じているひとに、少しでも言葉が届けば幸いです」(あとがき)。円環を描く物語のように、記憶をしずかに濡らしていく22篇。	
接吻 / 中本道代著 思潮社, 2018.7	911.56-N36s
第26回萩原朔太郎賞 広島での幼少期、父母の記憶、戦争の傷痕、何世代もの夢。長い時間を包含し、生けるものたちの愛と痛みを見つめる。10年ぶりの新詩集。	
銘度利加 / 十田撓子著 思潮社, 2017.11	911.56-To17m
第68回(2018年)H氏賞受賞 この土地を行き交う者たちの気配を、胎内に響かせ、鎮める、聖なるうた声。第一詩集。	
あたらしいエクスプロージョン / 福原充則著 白水社, 2018.4	912.6-F75a
第62回岸田国土戯曲賞 カメラもなければ、フィルムもない。それでも戦後日本のシネアストたちが、「邦画史上初のキスシーン」を撮影した者の称号を我先にと得るべく、奮闘する物語。	
バルパライソの長い坂をくだる話 / 神里雄大著 白水社, 2018.4	912.6-Ka38b
第62回岸田国土戯曲賞 パラグアイ、アルゼンチン、チリ、ペルー、沖縄、父島…国境を越えて思考し続ける注目の劇作家が、移民の目と声で紡ぐ壮大なる三部作、一挙収録。	
悪玉伝 / 朝井まかて著 KADOKAWA, 2018.7	913.6-A832a
第22回司馬遼太郎賞 大坂の炭問屋・木津屋の主の吉兵衛は、稼業は番頭らに任せ、自らは放蕩の限りを尽くしてきた。そこへ実の兄・久佐衛門の訃報が伝えられる。実家である薪問屋・辰巳屋へ赴き、兄の葬儀の手筈を整える吉兵衛だったが、辰巳屋の大番頭・与兵衛や甥の乙之助に手を引くように迫られると、事態は辰巳屋の相続争いに発展する。江戸時代最大の贈収賄事件の行く末は?	
守教 / 帚木蓬生著 新潮社, 2017.9	913.6-H143sb-1,2
第52回吉川英治文学賞 戦国期の伝来から、弾圧を経て、江戸時代の終わりまで。九州のその村に、隠れつづけたキリシタンたち。殉教する者、転ぶ者、密告する者。史実をもとに、命を賭けて信じ続けた村人たちの姿を、過酷な状況を、残酷な処刑を、心の迷いを、温かい視線で描ききった落涙必至の歴史小説。	
草薙の剣 / 橋本治著 新潮社, 2018.3	913.6-H386kb
第71回野間文芸賞 なんて僕はこんなところにいるんだろう? 日本人の心の百年を辿る壮大な長篇小説。62歳から12歳まで、10歳ずつ年の違う6人の男たちを主人公に、その父母や祖父母まで遡るそれぞれの人生を描いて、敗戦、高度経済成長、オイルショック、昭和の終焉、バブル崩壊、二つの大震災を生きた日本人の軌跡を辿る。	

<p>はんぷくするもの / 日上秀之著 河出書房新社, 2018.11</p> <p>第55回文藝賞 すべてを津波に流された者、波の飛沫一滴すらかからなかった者一穀、30代独身、自営業、資格ナシ、友だちひとり。タタミ十畳の仮設商店で、今日も3,413円のツケを巡る攻防がはじまる。</p>	913.6-H574h
<p>焰 / 星野智幸著 新潮社, 2018.1</p> <p>第54回(2018年)谷崎潤一郎賞 真夏の炎天下の公園で、涙が止まらない人で溢れかえる世界で、人間がお金となり自らを売買する社会で。自分ではない何かになりたいと切望する人々が、自らの物語を語り始めたとき。</p>	913.6-H922h
<p>天地に燦(さん)たり / 川越宗一著 文藝春秋, 2018.7</p> <p>第25回松本清張賞 豊臣秀吉の朝鮮出兵により侵略の風が吹き荒れる東アジアを、三つの視点から克明に続く。なぜ人は争うことを辞められないのか。人と獣を分かちつものとは、一体なんなのか。</p>	913.6-Ka923t
<p>無限の玄; 風下の朱 / 古谷田奈月著 筑摩書房, 2018.7</p> <p>第31回三島由紀夫賞(小説・戯曲) 死んでは蘇る父に戸惑う男たち、魂の健康を賭けて野球する女たち。三島賞受賞作「無限の玄」と芥川賞候補作「風下の朱」を収めた新星が放つ奇跡の中編集。</p>	913.6-Ko973m
<p>リトルガールズ / 錦見映理子著 筑摩書房, 2018.11</p> <p>第34回太宰治賞(新人賞) ヌードモデルになってほしいと迫られる中年教師、女友達への気持ちに戸惑う女子中学生、夫を好きになれない妻。選考委員に「理由のわからないパワフルさ」「爽やかな読後感」と評された、恋と人生の輝きを描くデビュー作。</p>	913.6-N832L
<p>雪の階(きざはし) / 奥泉光著 中央公論新社, 2018.2</p> <p>第31回柴田錬三郎賞、第72回毎日出版文化賞(文学・芸術部門) 昭和十年、秋。笹宮惟重伯爵を父に持ち、女子学習院高等科に通う惟佐子は、親友・宇田川寿子の心中事件に疑問を抱く。富士の樹海で陸軍士官・久慈とともに遺体となって発見されたのだが、「できるだけはやく電話をしますね」という寿子の手による仙台消印の葉書が届いたのだ…。戦前昭和を舞台に描くミステリーロマン。</p>	913.6-O543y
<p>葵の残葉 / 奥山景布子著 文藝春秋, 2017.12</p> <p>第37回新田次郎賞 徳川の分家筋・高須に生まれた四兄弟はやがて尾張、一橋、会津、桑名を継いで維新と佐幕で対立する。歴史と家族の情が絡み合う物語。</p>	913.6-O57a
<p>到達不能極 / 斉藤詠一著 講談社, 2018.9</p> <p>第64回江戸川乱歩賞 遊覧飛行中のチャーター機が突如システムダウンを起こし、南極へ不時着してしまう。ツアーコンダクターの望月拓海と乗客のランディ・ベイカーは物資を求め、今は使用されていない「到達不能極」基地を目指す。</p>	913.6-Sa259t
<p>ファーストラヴ / 島本理生著 文藝春秋, 2018.5</p> <p>2018年上半期(第159回)直木賞 女子大生・聖山環菜が逮捕された。彼女は父親の勤務先である美術学校に立ち寄り、あらかじめ購入していた包丁で父親を刺殺した。</p>	913.6-Sh381f
<p>宝島 / 真藤順丈著 講談社, 2018.6</p> <p>2018年下半期(第160回)直木賞 奪われた「故郷」を取り戻すため、少年少女は立ち上がる。米軍統治下の沖縄を嵐のように駆け抜ける、青春と革命の一大叙事詩。</p>	913.6-Sh622t
<p>送り火 / 高橋弘希著 文藝春秋, 2018.7</p> <p>2018年上半期(第159回)芥川賞 少年たちは暴力の果てに何を見たのか?東京から山間の町へ引越した中学三年生の歩。級友とも、うまくやってきたはずだった。あの夏、河へ火を流す日までは。</p>	913.6-Ta3312o
<p>かがみの孤城 / 辻村深月著 ポプラ社, 2017.5</p> <p>2018年本屋大賞 学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうどところと似た境遇の7人が集められていた。なぜこの7人が、なぜこの場所に。生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。</p>	913.6-Ts44kb
<p>いつか深い穴に落ちるまで / 山野辺太郎著 河出書房新社, 2018.11</p> <p>第55回文藝賞(新人賞) 戦後から現在まで続く「秘密プロジェクト」があった。発案者は、運輸省の若手官僚・山本清晴。「日本-ブラジル間・直線ルート開発計画」が「温泉を掘る」ための技術によって、始動した。</p>	913.6-Y381i
<p>飛ぶ孔雀 / 山尾悠子著 文藝春秋, 2018.5</p> <p>第46回泉鏡花文学賞 庭園で火を運ぶ娘たちに孔雀は襲いかかり、大蛇うごめく地下世界を男は遍歴する。待望の連作長編小説。</p>	913.6-Y41t
<p>ここは、おしまいの地 / こだま著 太田出版, 2018.2</p> <p>第34回講談社エッセイ賞 何もない“おしまいの地”に生まれた実家は空き巣に何度も入られ、訪問販売の餌食だったこと。中学の卒業文集で「早死しそうな人」「秘密の多そうな人」ランキングで1位を獲得したこと…。生まれ持った気質なのか、見事なまでに災難に巻き込まれる“おしまいの地”での出来事。</p>	914.6-Ko181k

2017年度 受賞作品

書名 / 著者 (上段)	内容解説 (下段)	請求番号
中動態の世界：意志と責任の考古学 / 國分功一郎著 医学書院, 2017.4	第16回小林秀雄賞 能動性、受動性という概念にうまく当てはまらない状況や、非自発的同意という事態が日常にはゴロゴロある。能動態(～する)でも受動態(～される)でもない動詞の態である「中動態」の概念を知ると、少し生きやすくなる。	130-Ko45c
小倉昌男祈りと経営：ヤマト「宅急便の父」が闘っていたもの / 森健著 小学館, 2016.1	第1回大宅壮一メモリアル日本ノンフィクション大賞 私財46億円を投じて「ヤマト福祉財団」を創設、障害者福祉に晩年を捧げた訳とは。	289.1-O263m
秘密解除ロッキード事件：田中角栄はなぜアメリカに嫌われたのか / 奥山俊宏著 岩波書店, 2016.7	第21回司馬遼太郎賞 逮捕された田中角栄元首相はアメリカの虎の尾を踏んだのか。新資料と新たな視点から事件の謎を解明する。	312.1-O57h
黙殺：報じられない「無頼系独立候補」たちの戦い / 畠山理仁著 集英社, 2017.11	第15回開高健ノンフィクション賞 選挙の魔力に取り憑かれた泡沫候補(=無頼系独立候補)たちの戦いを追い続けた20年間の記録。	314.85-H41m
裁判の非情と人情 / 原田國男著 岩波書店, 2017.2 (岩波新書)	第65回日本エッセイストクラブ賞 多数の無罪判決を言い渡した元東京高裁判事が、法廷、裁判員制度、冤罪、死刑まで、胸中を綴る。	S-327-H32s
子どもたちの階級闘争：ブローケン・ブリテンの無料託児所から / ブレイディみかこ著 みすず書房, 2017.4	第16回新潮ドキュメント賞 英国に20年以上住む著者が、保育士として関わった、「全国最悪の水準」にある託児所での見聞録。	369.42-B71k
時がつくる建築：リノベーションの西洋建築史 / 加藤耕一著 東京大学出版会, 2017.4	第39回サントリー学芸賞(芸術・文学部門) 西洋建築史から建物を創造的に再利用する、豊かな建築文化とのつきあいかたを示す。	523-Ka86t
非常時のモダニズム：1930年代帝国日本の美術 / 五十殿利治著 東京大学出版会, 2017.3	第68回(H29年度)芸術選奨文部科学大臣賞(評論部門) 昭和恐慌に揺れ、「非常時」が通奏低音のように鳴り響いた1930年代。日本の前衛芸術はいかなる様相を呈したのか。統制の下で国境を超え、スイス人芸術家との交流を深めた岡本太郎、新たな展示の場となった銀座の画廊…帝国日本の美術現象を丹念に跡付け、「冷たいモダニズム」の姿を描き出す。	702.16-O64h
震美術論 / 榎木野衣著 美術出版社, 2017.9	第68回(H29年度)芸術選奨文部科学大臣賞(評論部門) 自然災害による破壊と復興、そして反復と忘却を繰り返してきた日本列島という「悪い場所」において、はたして、西欧で生まれ発達した「美術」そのものが成り立つのか。	704-Sa97sb
文字を作る仕事 / 鳥海修著 晶文社, 2016.7	第65回日本エッセイストクラブ賞 書体設計士の著者は、どのように文字作りの道を歩んできたのか。37年間を振り返り、思いをつづる。	749.41-To67m
黄色いマンション黒い猫 / 小泉今日子著 スイッチ・パブリッシング, 2016.4	第33回講談社エッセイ賞 幼い日々の記憶、中学時代の友人、デビューのきっかけ、アイドル時代に住んだ原宿、秘密の恋、そして…。	767.8-Ko381k
勝ち過ぎた監督：駒大苫小牧幻の三連覇 / 中村計著 集英社, 2016.8	第39回講談社ノンフィクション賞 球史に残る監督、栄光と挫折の舞台裏を長期に亘る丹念な取材で解き明かしたノンフィクション。	783.7-Ko16Yn
狂うひと：「死の棘」の妻・島尾ミホ / 梯久美子著 新潮社, 2016.10	第39回講談社ノンフィクション賞 未発表原稿や日記、手紙の新資料から、名作の隠された事実を掘り起こし、妻・ミホ生涯を辿る評伝。	910.268-Sh431k
行きて帰る：橋本喜典歌集 / 橋本喜典著 短歌研究社, 2016.11	第51回逍空賞 詠えとごとく短歌はありぬ。いのちを愛しみ、時代を見据える、思念の歌556首。	911.168-H38y
時禱集：三枝浩樹歌集 / 三枝浩樹著 KADOKAWA(発売), 2017.2	第22回若山牧水賞 うつせみのひかり集めてたまかぎる夕べの色とわれはなりゆく 16年ぶり待望の第6歌集。	911.168-Sa18j
羽羽：正木ゆう子句集 / 正木ゆう子著 春秋社, 2016.9	第51回蛇笏賞 森羅万象への直感が鮮やかに紡ぎだす第五句集。日常をはじめ、ふるさと熊本の間まで約300句を厳選。	911.368-Ma61h
十年：高橋睦郎句集 / 高橋睦郎著 KADOKAWA(発売), 2016.8	第51回蛇笏賞 自由詩、定型詩、小説などあらゆるジャンルを横断する詩人による、新しい叙情の可能性を切り拓く第9句集。	911.368-Ta33j
真珠川：Barroco / 北原千代著 思潮社, 2016.7	第67回H氏賞 心と身体の感知するところを、言葉に導かれるようにして。『繭の家』から5年、独自の書記をつきつめた待望の新詩集。	911.56-Ki641s
失せる故郷 / 倉橋健一著 思潮社, 2017.8	第55回藤村記念歷程賞 闊達な語りのうちに底光りする視線。深まる季節をつらぬいて、一つの生と現在への意志が鋭く交錯する。	911.56-Ku51u

青蚊帳 / 黒岩隆著 思潮社, 2017.8	911.56-Ku73a
第55回藤村記念歴程賞 闇の中で瞬間に明滅する無数の時間を、巡りあう季節を彩る光と色に重ねて描く19篇、6年ぶりの新詩集。	
狸の匣 / マーサ・ナカムラ著 思潮社, 2017.10	911.56-Ma62t
第23回(2017年度)中原中也賞 幽明の、生物の、時空の境をこえ、詩想を自在に羽ばたかせる。2016年度現代詩手帖賞詩人による、待望の第1詩集。	
絶景ノート / 岡本啓著 思潮社, 2017.7	911.56-O42z
第25回萩原朔太郎賞 中原中也賞、H氏賞をダブル受賞した『グラフィティ』以降、若き詩人が2015年から17年までに書きとめた詩片。	
具現 / 貞久秀紀著 思潮社, 2017.6	911.56-Sa13g
第48回高見順賞 『現代詩手帖』に「写生の試み」として連載された作品を中心に、見えるものとおして見えるものの具現を試みる38篇。	
空閑風景 / 齋藤恵美子著 思潮社, 2016.10	911.56-Sa25k
第47回高見順賞 言葉のまなざしに現れる、もつとも遠い一点まで。空洞を鳴らす黙音のふるえ、詩23篇。	
来てけつかるべき新世界 / 上田誠著 白水社, 2017.5	912.6-U32k
第61回岸田国土戯曲賞 ドローンが出前をする通天閣のおひざもどでは、AI搭載の炊飯器が、将棋や漫才もしてけつかる！	
風が吹いたり、花が散ったり / 朝倉宏景著 講談社, 2017.6	913.6-A852k
第24回(2017年度)島清恋愛文学賞 視覚障害のある、さちの伴走者となり、盲人マラソンに挑むことになった亮磨。クソみたいな夢も、ブラックバイトの日々も、二人で走ればどうでもよくなってくる。でも、僕は彼女に嘘をついている。本当は隣を走る資格なんてないんだ。	
文字渦 / 円城塔著 新潮社, 2018.7	913.6-E62m
第43回(2017年)川端康成文学賞(短編小説) 昔、文字は本当に生きていたのだと思わないかい？ 秦の始皇帝の陵墓から発掘された三万の漢字。希少言語学者が遭遇した未知なる言語遊戯「鬮字」。膨大なプログラミング言語の海に光る文字列の島。フレキシブル・ディスプレイの絵巻に人工知能が源氏物語を自動筆記し続け、統合漢字の分離独立運動の果て、ルビが自由に語りだす。文字の起源から未来までを幻視する全12篇。	
大雪物語 / 藤田宜永著 講談社, 2016.11	913.6-F671o
第51回吉川英治文学賞 長野県K町を舞台にしたオムニバス短編集。大雪で「陸の孤島」と化した町で起きるドラマの数々。	
日蝕えつきる / 花村萬月著 集英社, 2016.8	913.6-H275h
第30回柴田錬三郎賞 天明六年、来るべき皆既日蝕を背景に起きた、男と女の残酷物語。暗黒の極限、無惨な生死を描く時代小説集。	
リーチ先生 / 原田マハ著 集英社, 2016.10	913.6-H32L
第36回新田次郎賞 日本の美を愛し続けた英国人陶芸家、バーナード・リーチ。東洋と西洋の架け橋となった生涯を描く、アート小説。	
僕が殺した人と僕を殺した人 / 東山彰良著 文藝春秋, 2017.5	913.6-H552b
第69回(2017年)読売文学賞(小説部門) 1984年、台湾。13歳だった。夏休みが終わるほんの2日前、ぼくたちの人生はここから大きく狂いはじめたんだ。2015年冬、アメリカで連続殺人鬼「サックマン」が逮捕された。デトロイトの荒んだ街並みを見つめながら、「わたし」は、台湾で過ごした少年時代を想い出していく。三十年前、わたしはサックマンを知っていた——。1984年夏、台北で、兄をなくしたばかりのユン、牛肉麺屋のアガンと弟のダーダー、喧嘩っ早く正義感の強いジェイは友情を育てていた。四人の少年たちは、ある計画を実行することに決めた……。サックマンとは誰なのか？ その謎をめぐる青春ミステリー。	
星の子 / 今村夏子著 朝日新聞出版, 2017.6	913.6-I44h
第39回野間文芸新人賞 病弱なちひろを救いたい一心で、両親は怪しい宗教にのめり込んでいき、信仰が家族を崩壊させていく。	
百年泥 / 石井遊佳著 新潮社, 2018.1	913.6-I754h
第158回(2017年度下半期)芥川賞 チェンナイ生活三か月半にして、百年に一度の洪水に遭遇した。川の泥から百年の記憶が蘇る。	
銀河鉄道の父 / 門井慶喜著 講談社, 2017.9	913.6-Ka142g
第158回(2017年度下半期)直木賞 多数の詩や童話を創作し、紆余曲折に満ちた宮沢賢治の生涯を、父・政次郎の視点から描く。	
カストロの尻 / 金井美恵子著 新潮社, 2017.5	913.6-Ka44kb
第68回(H29年度)芸術選奨文部科学大臣賞(文学部門) 小説家の「幸福」をめぐる考察、デイジーの刺繍をしたブラウス、岡上淑子によるフォト・コラージュ作品、謎めいた宿命の女、胡同に咲き乱れるジャスミンの香り、金粉ショーのダンサーとの狂乱の恋、そして「塊」と「魂」。無数の映像や小説、夢や記憶の断片が繊細に絡み合い紡がれ、ここに前代未聞の物語が誕生した。	
いくさの底 / 古処誠二著 KADOKAWA, 2017.8	913.6-Ko21i
第71回毎日出版文化賞(文学・芸術) 戦争が引き起こす村の分断、軍隊という組織に絡め取られる心理。戦争ミステリーの金字塔。	
光の犬 / 松家仁之著 新潮社, 2017.10	913.6-Ma772h
第68回(H.29年度)芸術選奨文部科学大臣賞(文学部門) 北の町に根づいた一族三代と、そのかたわらで人々を照らす北海道犬の姿。助産婦の祖母の幼少時である明治期から、父母と隣家に暮らす父の独身の三姉妹、子どもたちの青春、揃って老いてゆく父母とおばたちの現在まで……。百年以上に亘る一族の姿を描いて、読後、長い時間をともに生きた感覚に満たされる長篇小説。	

最愛の子ども / 松浦理英子著 文藝春秋, 2017.4	913.6-Ma89s
第45回泉鏡花文学賞 パパ、ママ、王子…。3人の女子高生が擬似ファミリーを築く物語。巧みな語りで女子高生3人の姿を描き出す。	
名誉と恍惚 / 松浦寿輝著 新潮社, 2017.3	913.6-Ma891m
第53回山谷崎潤一郎賞 日中戦争のさなか、上海の工部局に勤める日本人警官・芹沢は、苦難に満ちた潜伏生活を余儀なくされる…。	
カプールの園 / 宮内悠介著 文藝春秋, 2017.1	913.6-Mi861k
第30回三島由紀夫賞(小説・戯曲) サンフランシスコで暮らす移民三世のレイは、旅の途中に日系人収容所であった博物館を訪れ…。	
影裏(えいり) / 沼田真佑著 文藝春秋, 2017.7	913.6-N993e
2017年上半年期(第157回)芥川賞 いつしか疎遠になった男のもう一つの顔に、あの日以後、触れることになるのだが…。	
ゲームの王国 / 小川哲著 早川書房, 2017.8	913.6-O243g-1,2
第38回日本SF大賞 テロル、虐殺、不条理を主題としたSF巨篇。軍靴と砲声に震える1974年のカンボジアで出会った少女と少年は…。	
独り舞 / 李琴峰著 講談社, 2018.3	913.6-R322h
第60回(2017年)群像新人文学賞(小説部門・優秀作) 性的マイノリティとして、内なる疎外感に苛まれていた迎梅。女子高での密やかな恋、そして運命を暗転させる「災難」の果てに、日本に半ば逃亡のような気持ちで渡った彼女の葛藤と孤独を描く。	
タンゴ・イン・ザ・ダーク / サクラ・ヒロ 筑摩書房, 2017.11	913.6-Sa462t
第33回太宰治賞 地下室に引きこもる妻に僕はなんとか会おうとするのだが。不安、官能、追憶、愛。夫婦間に横たわる光と闇を描く。	
明るい夜に出かけて / 佐藤多佳子著 新潮社, 2016.9	913.6-Sa8515a
第30回山本周五郎賞 つまずき、人づきあい、好きだって気持ち、夢…。若さと生きることのすべてが詰まった長篇青春小説。	
月の満ち欠け / 佐藤正午著 岩波書店, 2017.4	913.6-Sa856t
2017年上半年期(第157回)直木賞 あたしは、月のように死んで生まれ変わる。目の前にいる、この七歳の娘が、今は亡き我が子なのか？	
日曜日の人々(サンデー・ピープル) / 高橋弘希著 講談社, 2017.8	913.6-Ta3312s
第39回野間文芸新人賞 「他者に何かを伝えることが、救いになるんじゃないかな」。死に惹かれる心に静かに寄り添う、傑作青春小説。	
土の記 / 高村薫著 新潮社, 2016.11	913.6-Ta45tc-1
第70回野間文芸賞 第44回大佛次郎賞 妻を交通事故で失い、古希を迎えた伊佐夫は、残された棚田で黙々と米をつくる。	
明治乙女物語 / 滝沢志郎著 文藝春秋, 2017.7	913.6-Ta731m
第24回松本清張賞 鹿鳴館時代、高等師範学校に学ぶ咲と夏は、女に学問はいらぬという世相に抗い、“戦う乙女”として躍動する。	
浮遊霊ブラジル / 津村記久子著 文藝春秋, 2016.10	913.6-Ts741f
第27回紫式部文学賞 初の海外旅行を前に死んでしまった私。幽霊となって念願の地を目指す、なぜかブラジルに到着し…。	
塔と重力 / 上田岳弘著 新潮社, 2017.7	913.6-U326t
第68回(H.29年度)芸術選奨文部科学大臣賞(文学・新人部門) 忘れられないのね。可哀そうに。17歳の冬、僕らが眠るホテルは倒壊した。あの地震がなければ初体験の相手は彼女になるはずだった。	
愚者の毒 / 宇佐美まこと著 祥伝社, 2016.11	913.6-U92g
第70回推理作家協会賞 1965年、筑豊の廃坑集落で仕組まれた、陰惨な殺し。絶望が招いた罪と転落。そして、裁きの形とは…。	
おらおらでひとりいぐも / 若竹千佐子著 河出書房新社, 2017.11	913.6-W271o
第54回文藝賞 74歳、ひとり暮らしの桃子さん。夫に死なれ、子どもとは疎遠。新たな「老いの境地」を描いた感動作。	
光点 / 山岡ミヤ著 集英社, 2018.2	913.6-Y421k
第41回すばる文学賞 実以子は、中学卒業以来、手帳に職場の弁当工場にいく時間を記すだけの日々。ある日、彼女は裏山で…。	
所轄：警察アンソロジー / 日本推理作家協会編：薬丸岳 [ほか] 著 角川春樹事務所, 2016.10	913.68-Sh96b
『黄昏 / 薬丸岳著』: 第70回推理作家協会賞 東池袋署管内で発見された女性の白骨死体。娘が逮捕されたが…(「黄昏」)。	
鳥肌が / 穂村弘著 PHP研究所, 2016.7	914.6-H83t
第33回講談社エッセイ賞 日常のなかでふと覚える違和感。恐怖と笑いが紙一重で同居するエッセイ集。	
イスラム帝国夜話 / タヌーヒー [著]; 森本公誠訳 岩波書店, 2016.12-2017.5	929.76-Ta89i-1, 2
第54回日本翻訳文化賞 10世紀、アッバース帝国の首都バグダードで記された逸話の数々が、繁栄を極めた社会のありさまを映す。	
妖精の女王：韻文訳 / エドモンド・スペンサー作；福田昇八訳 九州大学出版会, 2016.10	931-Sp42y.f-1, 2
第54回日本翻訳文化賞 シェイクスピアと同時代に、エリザベス1世に捧げられた長編叙事詩で、質量ともに英文学の最高峰を誇る。	

2016年度 受賞作品

書名 / 著者 (上段)	内容解説 (下段)	請求番号
グノーシスと古代末期の精神 / ハンス・ヨナス [著]; 大貫隆訳 ぶねうま舎, 2015.9-2015.10 第53回日本翻訳文化賞受賞 古代末期に、広範に広がった思想運動。この埋もれた潮流の宗教的・哲学的含意とは何だったのか。		198-J71g-1
チェリー・イングラム：日本の桜を救ったイギリス人 / 阿部菜穂子著 岩波書店, 2016.3 第64回日本エッセイストクラブ賞 大英帝国の園芸家、コリングウッド・イングラム。多様な桜が消えようとする姿に、彼はある行動に出た。		289.3-I541a
戦後政治の証言者たち：オーラル・ヒストリーを往く / 原彬久著 岩波書店, 2015.8 第64回日本エッセイストクラブ賞 政治学の研究にオーラル・ヒストリーの手法を初めて導入した著者が、日本政治の相貌を描く。		312.1-H311s
マラス：暴力に支配される少年たち / 工藤律子著 集英社, 2016.11 第14回開高健ノンフィクション賞 殺人事件発生率世界一の中米ホンジュラスには、凶悪な若者ギャング団「マラス」がはびこる。		368.5-Ku17m
原爆供養塔：忘れられた遺骨の70年 / 堀川恵子著 文藝春秋, 2015.5 第47回大宅壮一ノンフィクション賞 広島市の平和記念公園にある原爆供養塔には、七万人もの被爆者の遺骨がひっそりと祀られている。		369.37-H89g
数学する身体 / 森田真生著 新潮社, 2015.10 第15回小林秀雄賞受賞 思考の道具として身体から生まれた数学。コンピュータや人工知能の誕生で、人間の思考は変貌するのか。		410.4-Mo66s
ロマネスク美術革命 / 金沢百枝著 新潮社, 2015.8 第38回サントリー学芸賞 11-12世紀のロマネスクこそは、ヨーロッパ美術を大きく塗りかえる革命だった。図版を例に解きあかす。		702.04-Ka48r
世界を漂う肉眼 / 山梨俊夫著 星雲社(発売), 2016.6 第67回芸術選奨文部科学大臣賞(評論部門) 日本と西洋の風景画の起源、あるいは神々と英雄の自然から人間の傍らの自然へ。		720.2-Y35f-1
風景の近代へ / 山梨俊夫著 星雲社(発売), 2016.6 第67回芸術選奨文部科学大臣賞(評論部門) 旅する文人画家と「真景」の発見、さらには自然への共感から誕生する西欧風景画。		720.2-Y35f-2
風景画の自立と世界の変容 / 山梨俊夫著 星雲社(発売), 2016.6 第67回芸術選奨文部科学大臣賞(評論部門) 風景画の世紀から現代へ、そして世界を侵犯する絵画の論理について。		720.2-Y35f-3
越境と覇権：ロバート・ラウシェンバーグと戦後アメリカ美術の世界的台頭 / 池上裕子著 三元社, 2015.12 第38回サントリー学芸賞 ラウシェンバーグの越境性に着目し、国際美術シーンのパリからニューヨークへの覇権の移行を検証する。		723.53-R18Yi
乱舞の中世：白拍子・乱拍子・猿楽 / 沖本幸子著 吉川弘文館, 2016.3 第38回サントリー学芸賞 中世、庶民のみならず貴族や寺院社会を席卷した、白拍子・乱拍子というリズム。知られざる能楽前史。		772.1-O51r
原節子の真実 / 石井妙子著 新潮社, 2016.3 第15回新潮ドキュメント賞 伝説を生きた女優の評伝。小津との本当の関係、たったひとつの恋、空白の一年、そして引退の真相。		778.21-H31Yi
マジカル・ヒストリー・ツアー：ミステリと美術で読む近代 / 門井慶喜著 幻戯書房, 2015.11 第69回推理作家協会賞 「歴史ミステリ」とは何か？名作をとおして、小説・宗教・美術が交差する「近代の謎」を読み解く。		902.83-Ka14m
つかこうへい正伝：1968-1982 / 長谷川康夫著 新潮社, 2015.11 第35回新田次郎賞 第38回講談社ノンフィクション賞 時代を変えた天才演出家の真の姿が伝えられたことは、かつて無かった…。		910.268-Ts51h
馬上：小島ゆかり歌集 / 小島ゆかり著 現代短歌社, 2016.8 第67回芸術選奨文部科学大臣賞(文学部門) 2013年夏から2015年夏までの、ほぼ2年間の作品の中から519首を収めた第13歌集。		911.168-Ko39b
ゼクエツツ：河野美砂子歌集 / 河野美砂子著 砂子屋書房, 2015.5 第12回葛原妙子賞 死はいつもだしぬけに人を立たしめて窓の硝子をキュッキュッと拭く 2004～2010年に発表した406首を収録。		911.168-Ko76s
ふくろう：歌集 / 大島史洋著 短歌研究社, 2015.3 第50回迢空賞 時にふくろうの目を覗いて なつかしい時代 なつかしい人々を思う 静かな生活		911.168-O77f
駅程：島田幸典歌集 / 島田幸典著 砂子屋書房, 2015.10 第21回寺山修司短歌賞 駅から駅へ向かう列車の窓から“遠矢のごとき眼差し”を射かけるように、町を、人を、流れる水を見ていた。		911.168-Sh361e
鳥の見しもの：歌集 / 吉川宏志著 本阿弥書店, 2016.8 第21回(2016年度)若山牧水賞 原発をなおも信じる人の目に我は砂男のごとく映らむ 2012年～2015年の433首を収録。		911.168-Y89t
夢洗ひ：恩田侑布子句集 / 恩田侑布子著 KADOKAWA(発売), 2016.8 第67回芸術選奨文部科学大臣賞(文学部門) 現実と夢幻の間に立ち上がる世界を言葉の雫で鮮やかに描き出す。約300句を収める。		911.368-O651y

戯れ言の自由 / 平田俊子著 思潮社, 2015.10	911.56-H68z
第26回紫式部文学賞 日本語という小さな舟がひとの思いを運んでいく。鋭くもしなやかに、全身でとむすことばの灯り、詩28篇。	
砂文 / 日和聡子著 思潮社, 2015.10	911.56-H78s
第24回萩原朔太郎賞 出会ってしまったら、もう戻れない。切り拓き、刻み、均し、掘り、崩し、築き、壊しては作り、進んでいく…。	
耳の笹舟 / 石田瑞穂著 思潮社, 2015.10	911.56-I721mb
第54回藤村記念歴程賞 なぜあなたひとりが残ったのか 三百年の松原の兄妹は流されたのに なぜあなただけ別れをえらんだのか	
零余子回報 / 森本孝徳著 思潮社, 2015.10	911.56-Mo55m
第66回H氏賞 現代詩手帖賞受賞から2年、未見の領野をひらく第1詩集。装画=若村大樹	
長崎まで / 野崎有以著 思潮社, 2016.5	911.56-N98n
第22回中原中也賞 もう一人の私に会いに行くこと。片隅の生をやわらかく灯す、12の詩編。昨年の現代詩手帖賞詩人による第1詩集。	
まどさんへの質問 / 大橋政人著 思潮社, 2016.10	911.56-O281m
第12回三好達治賞 見つめるほどに、全ては“超現実”へと変容していく。その変容のありのままを、ありのままに記録した24の詩篇。	
地獄谷温泉無明ノ宿 / タニノクロウ著 白水社, 2016.5	912.6-Ta88j
第60回岸田国土戯曲賞 噴火に見舞われた土地に、人形遣いの親子が謎の依頼状を手に迷いこんだ…。一夜限りの出来事。	
東京零年 / 赤川次郎著 集英社, 2015.8	913.6-A293t
第50回吉川英治文学賞 死んだはずの湯浅道男が生きていることを知った亜紀と健司は、事件の真相を解明するために動き出す。	
帰郷 / 浅田次郎著 集英社, 2016.6	913.6-A813kb
第43回大佛次郎賞 二度と戻れぬ、遠きふるさと。戦争によって引き裂かれた、男たちの運命とは。名もなき人々の矜持ある生を描く。	
ジニのパズル / 崔実著 講談社, 2016.7	913.6-C37j
第59回群像新入文学賞 1998年の夏、テポドンが発射された。翌日、チマ・チョゴリ姿のジニは、警察を名乗る男たちに取り囲まれ…。	
待ってよ / 蜂須賀敬明著 文藝春秋, 2016.6	913.6-H113m
第23回松本清張賞 さかしまな時間が流れる海沿いの町。墓場から人が生まれる恐怖と、恋人が若返るせつなさ。戦慄の受賞作。	
鬼神の如く：黒田叛臣伝 / 葉室麟著 新潮社, 2015.8	913.6-H26k
第20回司馬遼太郎賞 黒田家家老・栗山大膳は、主君・忠之に謀反の疑いがあると幕府に告発した…。忠義と武士の一徹を描く。	
そういう生き物 / 春見朔子 [著] 集英社, 2017.2	913.6-H34s
第40回すばる文学賞 千景とまゆ子。高校の同級生である二人は十年ぶりに再会し、同居することに…。深い関係と秘密を描く。	
伯爵夫人 / 蓮實重彦著 新潮社, 2016.6	913.6-H391h
第29回三島由紀夫賞 エロス×戦争×サスペンス。帝大入試を控えた二郎は、謎めいた伯爵夫人に誘われ、性の昂ぶりを憶えて…。	
その姿の消し方 / 堀江敏幸著 新潮社, 2016.1	913.6-H871s
第69回野間文芸賞 古い絵はがきに綴られた十行の詩。細くながく結ばれてゆく幻の「詩人」との縁を描く待望の長篇。	
赤へ / 井上荒野著 祥伝社, 2016.6	913.6-I576a
第29回柴田錬三郎賞 ふいに思い知る、すぐそこにあることに。時に静かに、時に声高に。死を巡り炙り出される人間の“ほんとう”。	
のろい男：俳優・亀岡拓次 / 戌井昭人著 文藝春秋, 2015.11	913.6-I59n
第38回野間文芸新人賞 亀岡拓次40歳。下着泥棒から火宅の作家まで哀愁漂う男を演れば天下一。脇役俳優の酒と仕事と恋の物語。	
薄情 / 糸山秋子著 新潮社, 2015.12	913.6-I911hb
第52回谷崎潤一郎賞 宇田川静生は、他者への深入りを避け、日々をやり過ごしてきた。だが…。境界とはなにか、よそ者とは誰か。	
虹を待つ彼女 / 逸木裕著 KADOKAWA, 2016.9	913.6-I912n
第36回横溝正史ミステリ大賞 人工知能と恋愛ができる人気アプリに携わる研究者の工藤は、死者を人工知能化する計画に参加する。	
大きな鳥にさらわれないよう / 川上弘美著 講談社, 2016.4	913.6-Ka943ob
第44回泉鏡花文学賞 絶望的ながら、なつかしく牧歌的な未来世界。かすかな光を希求する人間の行く末を暗示した新しい神話。	
模範郷 / リービ英雄著 集英社, 2016.3	913.6-L57m
第68回読売文学賞 故郷である台湾への思い、両親の記憶、ライフワークである中国への旅、自身の出自などをテーマにした小説。	
青が破れる / 町屋良平著 河出書房新社, 2016.11	913.6-Ma19a
第53回文藝賞 ボクサーになりたいが、なれない青年・秋吉。夏澄との不倫恋愛を重ねながら…。新たなる青春小説の誕生。	
ユートピア / 湊かなえ著 集英社, 2015.11	913.6-Mi391u
第29回山本周五郎賞 美しい海辺の町で、三人の女性が出会う。自分の居場所を求めて、それぞれの理想郷を探す…。	
羊と鋼の森 / 宮下奈都著 文藝春秋, 2015.9	913.6-Mi83h
2016年度本屋大賞 ピアノの調律に魅せられた青年。彼が調律師として、人として成長する姿を温かく静謐な筆致で綴った長編。	

コンビニ人間 / 村田沙耶香著 文藝春秋, 2016.7 2016年上半期(第155回)芥川賞 36歳未婚、古倉恵子。コンビニのバイトは18年目。ある日、婚活目的の新入り男性が来て…。	913.6-Mu591c
三の隣は五号室 / 長嶋有著 中央公論新社, 2016.6 第52回山谷崎潤一郎賞 傷心のOL、秘密を抱えた男、病の伴侶、異国の者、単身赴任者、苦学生が、ここにいた。そして全員が去った。	913.6-N22s
海に見える理髪店 / 荻原浩著 集英社, 2016.3 第155回(2016年上半期)直木賞 もしも「あの時」に戻ることができたら…。永遠のようで儂い家族の日々。喪失の痛みと光を描く。	913.6-O252u
桜疎水 / 大石直紀[著] 光文社, 2017.3 第69回日本推理作家協会賞(短編部門)受賞作品『おばあちゃんといっしょ』を含むミステリー短編。京都に仕掛けられた六つの罠とは。	913.6-O33s
蜜蜂と遠雷 / 恩田陸著 幻冬舎, 2016.9 2016年下半期(第156回)直木賞 ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描き切った青春群像小説。	913.6-O65m
QJKJQ / 佐藤究著 講談社, 2016.8 第62回江戸川乱歩賞 猟奇殺人鬼一家の長女として育った17歳の亜李亜。一家は秘密を共有し、ひっそりと暮らしていたが…。	913.6-Sa8519q
虚人の星 / 島田雅彦著 講談社, 2015.9 第70回毎日出版文化賞(文学・芸術) 七つの人格をもつ二重スパイと、血筋だけが取り柄の首相。交互に明かされる諜報と政権の秘密。	913.6-Sh36kc
捨てる：アンソロジー / 大崎梢 [ほか] 著 文藝春秋, 2015.11 『パパ抜き / 永嶋恵美著』: 第69回(2016年)推理作家協会賞 人気の女性作家9名による書き下ろし短編集。9つの「捨てる」物語。	913.68-Su83
珠玉の短編 / 山田詠美 [著] 講談社, 2016.6 第42回川端康成文学賞『生鮮でてる坊主』収録。恋愛、友情、自尊心…。人間の欲望の行き着く先は…。11の珠玉の短編集。	913.6-Y1921sb
しんせかい / 山下澄人著 新潮社, 2016.10 2016年下半期(第156回)芥川賞 見知らぬ土地での、かけがえのない経験。19歳の山下スミは演劇塾で学ぶため、船で北を目指す。	913.6-Y441s
美しい距離 / 山崎ナオコーラ著 文藝春秋, 2016.7 第23回島清恋愛文学賞 妻はまだ40歳代初めで不治の病におかされたが、その生の息吹が夫を励まし続ける。人生考察の清々しさ。	913.6-Y481u
楽園 / 夜釣十六著 筑摩書房, 2017.4 第32回太宰治賞 南国の植物が茂る廃村で突如始まる圭太と「祖父」との奇妙な共同生活。夜毎語られる太平洋戦争の記憶。	913.6-Y95r
孤狼の血 / 柚月裕子著 KADOKAWA, 2015.8 第69回推理作家協会賞 捜査二課の新人・日岡は、暴力団系列の金融会社社員が失踪した事件の捜査を担当することになり…。	913.6-Y992kb
台湾生まれ日本語育ち / 温又柔著 白水社, 2016.1 第64回日本エッセイストクラブ賞 3歳から東京に住む台湾人作家が、台湾・中国・日本の狭間で惑い、自身のルーツを探った4年。	914.6-O651t
言葉を離れる / 横尾忠則著 青土社, 2015.10 第32回講談社エッセイ賞 小説と画家宣言、少年文学の生と死、映画の手がかり…。自伝的記憶も交えて思考を紡ぎ出す。	914.6-Y778k

★ 文学賞受賞作品の一覧をOPACで表示する手順について ★

- ① OPACの詳細検索画面を開きます。
- ② [著者]欄の下に、[件名]欄がありますので、その[件名]に「文学賞受賞」と入力します。
- ③ 検索をすると、所蔵している文学賞受賞作品の一覧が、出版年の新しい順に表示されます。

獨協大学図書館 2019.2.7